

平成30年度 科目等履修生の受け入れ可能授業科目一覧

授業科目名	単位	年限	区分	
文学	2	1/2	講義	
美学	2	1/2	講義	
法学(日本国憲法)	2	1/2	講義・集中	
社会学	2	1/2	講義	
心理学	2	1/2	講義	
音響学	2	1/2	講義・集中	
生理学	2	1/2	講義・集中	
医学概論	2	1/2	講義・集中	
社会福祉	2	1/2	講義・集中	
情報処理演習Ⅰ	2	1/2	演習	
情報処理演習Ⅱ	2	1/2	演習	
英語Ⅰ-1	2	4	1	講義
英語Ⅰ-2	2			
英語Ⅱ	4	1	講義	
伊語-1	2	4	1	講義
伊語-2	2			
保健体育講義	1	1/4	講義	
体育実技	1	1/2	実技	
専門実技-1	2	4	1	実技
専門実技-2	2			
作曲法	2	1	演習	
音楽史-1	2	4	1	講義
音楽史-2	2			
和声法Ⅰ-1	1	2	1	演習
和声法Ⅰ-2	1			
和声法Ⅱ	2	1	演習	
ソルフェージュ-1	1	2	1	演習
ソルフェージュ-2	1			
合唱Ⅰ-1・Ⅰ-2/Ⅱ	2	1	実技	
器楽合奏Ⅰ-1・Ⅰ-2/Ⅱ	2	1	実技	
副科ピアノ-1	1	2	1	実技
副科ピアノ-2	1			
鍵盤和声Ⅰ-1	1	2	1	演習
鍵盤和声Ⅰ-2	1			
鍵盤和声Ⅱ	2	1	演習	
ピアノ伴奏法	2	1/2	講義	
ピアノ特殊講義	2	1/2	講義	
フルートオーケストラⅠ-1・Ⅰ-2/Ⅱ	2	1	実技	
古楽研究「鍵盤音楽史」	4	1	講義	
古楽研究「古楽概説」	4	1	講義	
声楽アンサンブルⅠ-1・Ⅰ-2/Ⅱ	2	1/2	実技	
声楽特殊演習	2	1/2	演習	
民族音楽学	2	1/2	講義	
ピアノ伴奏法演習1	1	1/2	演習	
ピアノ伴奏法演習2	1	1/2	演習	
ウィンドアンサンブルⅠ-1・Ⅰ-2/Ⅱ	2	1	実技	

授業科目名	単位	年限	区分	
楽曲分析Ⅰ-1	2	4	1	講義
楽曲分析Ⅰ-2	2			
楽曲分析Ⅱ	4	1	講義	
音楽療法概論	2	1/2	講義	
副科声楽	2	1	実技	
副科器楽	2	1	実技	
指揮法	2	1/2	演習	
教育合奏	2	1/2	実技	
臨床心理学	2	1/2	講義・集中	
児童の音楽療法	2	1/2	講義・集中	
教職概論 ※	2	1/2	講義・集中	
教育原理 ※	2	1/2	講義・集中	
教育史 ※	2	1/2	講義	
教育心理学 ※	2	1/2	講義	
発達心理学 ※	2	1/2	講義	
音楽科教科教育法 ※	2	1/2	講義	
道徳教育指導論 ※	2	1/2	講義	
特別活動 ※	1	1/2	講義	
教育方法論 ※	2	1/2	講義・集中	
生徒指導論 ※	2	1/2	講義	
教育相談 ※	2	1/2	講義・集中	
教育実習 ※	5	1/2	実習	
教職実践演習 ※	2	1/2	演習	

- この表に掲載されていない科目は、授業内容及び斉一性等の制約から原則として履修できない。
- 「-1」「-2」と記載されている科目は必ず同時に履修すること。
- 個人レッスンの担当者は、本科生の受け入れを優先させるため、希望に添えない場合がある。

* 専門実技レッスン時間：専門実技-1 (1回50分/15回)
 : 専門実技-2 (1回50分/15回)

* 副科実技レッスン時間：副科ピアノ-1 (1回20分/15回)
 : 副科ピアノ-2 (1回20分/15回)
 : 副科声楽 (1回20分/15回)
 : 副科器楽 (1回20分/15回)

- 合唱、器楽合奏、フルートオーケストラ、声楽アンサンブル、及びウィンドアンサンブルは、「Ⅰ-1・Ⅰ-2」か「Ⅱ」のどちらかの科目名での履修となる。
- ※印の付いた科目は教育職員免許状取得に関わる科目である。

上野学園大学短期大学部卒業生に限り、本科在籍中に取得した単位と併せて、教職課程の修了を目指すことができる。本科在籍中の単位取得状況により、このほかにも履修が必要になる場合があるので、教職事務担当者の指示に従うこと。初年度に「教育実習」及び「教職実践演習」以外の科目を履修し、2年間で完了する計画を立てなければならない。教育実習先は個人で確保し、実習実施の確認を示すことが、履修許可の要件である。教育職員免許状は、個人申請により取得するものとする。また、教職科目であり音楽療法の教育課程でもある科目について、音楽療法を目的として履修を希望する場合は、事前に教職事務担当者に相談すること。